

マイナトラブルで「いったん10割負担」 コロナ受診で1万円を超える

■マイナ保険証トラブルで資格が確認できず、やむなく10割負担となったケースが200件超あったとの結果を受けて、現在初診で受診するケースの多い「新型コロナウイルス感染症」の疑いで受診したケースで金額を推計してみました。

その場合、3割負担だと3千円で済みますが、10割だと1万円を超える金額がかかることが分かりました。

<コロナ疑いで受診> (9月末まで)

- 初診料 288点
- 院内感染対策実施 300点
- 検査料 469点

計 1,057点 = 医療費 10,570円

<患者負担>

- 3割負担で 3,170円 → **10割だと 10,570円**

<コロナ陽性となった場合> (上記の金額に加え)

- 陽性患者への指導料 147点
 - 新型コロナ治療薬 5,185点 (9月末まで公費負担=0点)
- 計 147点

<患者負担> (9月末まで)

- 3割負担で 3,610円 → **10割だと 12,040円**

<患者負担> (10月以降に治療薬の公費がなくなった場合)

- 3割負担で 19,170円 → **10割だと 63,890円**

- なお、発熱や症状がそれほどひどくなければ、解熱剤で様子を見る場合があります。その場合の薬剤料は保険請求となります。また処方料か処方箋料が別途発生します。